

肥料価格高騰対策事業（国事業）の実施について （取組実施者様向け事業推進の手引き）

本事業は、大阪府とJA大阪中央会、JA全農大阪府本部及び関係団体で構成される都道府県協議会（「大阪府水田農業推進協議会」、以下「府協議会」という。）が事業実施主体となり、取組実施者様（農業協同組合、肥料販売事業者、その他関係事業者）を通じて、府内農業者に肥料価格高騰分の一部を支援金として交付するものです。

取組実施者の皆様には、円滑な支援金の交付並びに適正な事業推進のため、多くのご理解、ご協力をいただきますが、よろしくお願い申し上げます。

取組実施者の申請、及び取組計画の申請からお支払い、実績報告までの流れは、以下の通りです。

1 取組実施者における対応の流れ（概要） ※国予算の繰越を前提としたスケジュール （各対応の時期は変更になる場合があります。）

①取組実施者の承認申請（～令和5年1月末日） 3ページ

【取組実施者様式第1号】（以下、様式○という。）により、府協議会に承認申請します。その際に、取組実施者が肥料購入の証拠書類として供給実績等の一覧表をもって、参加農業者個々での領収書等の添付を省略したい場合は、上記一覧表の様式を添付し、予め府協議会の承認を得る必要があります。

承認後は速やかに支援金の振込口座【様式3】（業務報告書様式3）を提出します。



取組実施者を府ホームページ上で公表（令和5年2月～）
肥料価格高騰率の発表（令和5年3月頃）
参加農業者の申請受付開始（令和5年4月～5月末日）



②取組計画書の提出（令和5年6月19日） 6ページ

参加農業者の事業申込書及び購入伝票等の写し【農業者様式2】、参加農業者名簿【様式2-1】及び化学肥料低減計画書の写し【農業者様式3】を添付して、府協議会に取組計画書【様式2】（業務報告書様式1）を提出します。



③支援金の支払い（令和5年夏以降） 9ページ

府協議会から支援金が交付されましたら、参加農業者に速やかに支援金を支払います。

なお、支払いは必ず口座振込とし、現金などそれ以外の方法では支払わないようにします。



③取組実績の報告（※取り扱いについて国確認中） 17 ページ

【様式2】（業務報告書様式1）の別添を実績報告書としたもの、及び参加農業者名簿【様式2-1】を添付して、府協議会に取組実績報告書【様式4】（業務報告書様式4）を提出します。

なお、①の計画書の内容に変更があった場合は、変更のあった購入伝票等の写し【農業者様式2】、化学肥料低減計画書の写し【農業者様式3】も併せて提出します。



参加農業者による化学肥料低減活動の実施確認・中間報告書の徴取



④中間報告書の提出（令和5年10月末ㄨ） 17 ページ

令和4年度を取組（期間は令和4年6月から令和5年5月まで）について、参加農業者から化学肥料低減中間報告書【農業者様式5】を徴取します。その際にと組が行われていることを同時に確認し、作業日誌【農業者参考様式2】等の活動記録を求めます。令和5年10月末までに府協議会に中間報告書【様式6】（業務報告書様式6）を提出します。



参加農業者による化学肥料低減活動の事業対象期間終了（令和6年5月末）
化学肥料低減活動実施確認・実施報告書の徴取（令和6年6月～）



⑤実施状況報告書の提出（令和6年7月末ㄨ） 18 ページ

令和4～5年度を取組（期間は令和4年6月から令和6年5月まで）について、参加農業者から化学肥料低減実施報告書【農業者様式4】を徴取します。その際にと組の実績を同時に確認します。令和6年7月末までに上記報告書の写し、及び参加農業者名簿【様式5-1】を添付して、府協議会に実施状況報告書【様式5】（業務報告書様式5）を提出します。



現地調査対象農業者との日程調整等のお願い（令和6年8月頃～）
その他調査に係る調整・確認等の実施



⑥現地調査へのご協力（令和6年9月から11月頃まで） 18 ページ

実施状況報告書の内容、実施状況について、現地において検査を行いますので、ご協力をお願いします。（抽出調査になります）

なお、この事業は国による会計検査の対象にもなりますので、これ以降も取組実施者としての説明責任のほか、関係書類の保存（令和9年度末まで：支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間）、参加農業者との調整などが必要ですので、ご理解をお願いします。

2 各取組の詳細について

0) 取組実施者の承認申請

取組実施者となるには、取組実施申請書【様式1】にて、令和5年1月末日までに府協議会あて申請する必要があります。

提出書類

◎肥料価格高騰対策事業取組実施申請書【様式1】

添付書類：下記のいずれの書類も写し可

①代表者の定めがわかる書類

法人格がある組織

- ・ディスクロージャー誌（表紙及び当該ページのみで可）
- ・登記事項証明書、理事会議事録などの公的書類

法人格がない組織（出荷部会などの任意組織）

- ・役員名簿
- ・議事録（議事録署名人、代表者選出内容の議事録など）

②当該組織に関する規程

法人格がある組織

- ・定款

法人格がない組織（出荷部会などの任意組織）

- ・組織規程

③経理規程

④注文票及び購入明細書等の一覧表の様式

※参加農業者が領収書等を提出する代わりに、取組実施者が出力する注文票等の一覧表での申請を希望する場合は、下記の情報が含まれているかについて、府協議会の承認を得ておく必要があります。

必須

任意

注文票等一覧表
(供給実績一覧表)
のイメージ

肥料供給実績一覧表						
購入期間：2022年6月1日～2023年5月31日						
請求者：株式会社〇〇肥料店						
供給日	供給区分	購入者	品名	供給数量	単価	供給金額
2022/6/5	通常供給	咲洲 太郎	肥料① 20kg	10	1,837	18,370
2022/6/6	通常供給	咲洲 太郎	肥料③ 20kg	5	2,450	12,250
2022/6/7	通常供給	咲洲 太郎	肥料① 20kg	10	1,993	19,930
2022/6/9	通常供給	咲洲 太郎	肥料② 18リットル	10	2,110	21,100
2022/6/10	通常供給	咲洲 太郎	肥料④ 10kg	5	2,990	14,950
		咲洲 太郎	供給額合計			86,600

注文票等の一覧表には、下記の情報が含まれていることが必要です。

- ・注文日、注文者名、受注者名（受注者側組織名）
- ・肥料銘柄、商品規格
- ・商品単価、購入数量、受注金額 など

⇒前ページの必要な情報を満たす一覧表ではない場合は、参加農業者において各自領収書等の写しを貼付して、取組実施者に提出する必要があります。

府協議会で取組実施申請書【様式1】及び添付資料を審査の上、承認通知書を送付します。

取組実施者は承認通知後速やかに支援金等の振込先となる振込口座の情報【様式3】（業務方法書様式3）（口座情報が記載された通帳ページの写しを添付する）を府協議会に提出します。

府協議会では承認した取組実施者の情報を大阪府ホームページに公開します。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/nosei/seisyansyasapo-to/tekiseisehi.html>

「適正な施肥・土づくりに関する情報」)

(取組実施者 様式第1号)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

肥料価格高騰対策事業取組実施申請書

大阪府水田農業推進協議会 会長 様

取組実施者名称 **株式会社〇〇肥料店**

代表者氏名 **咲洲 太郎**

住 所 **大阪市住之江区南港北〇〇**

以下のとおり必要事項を記載の上、関係資料を添えて申請します。

1 必要事項

部署担当者名	(株)〇〇肥料店営業部 大阪 一郎	電 話	〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
ホームページ	http://www.〇〇〇〇.html (未開設の場合は空欄)	Eメールアドレス	〇〇〇〇〇@〇〇〇〇
対応可能肥料	自社販売品のみ対応 他社販売品も含めて対応可		

白地の事項について、大阪府ホームページの取組実施者一覧に掲載することを了解します。

府ホームページへの公開は

- ①取組実施者名称
- ②住所
- ③電話番号
- ④ホームページアドレス
- ⑤メールアドレス

の事項とします。

大阪府ホームページ 「適正な施肥・土づくりに関する情報」

※申請書等の各種様式等もダウンロード
できるようにする予定です。



肥料価格高騰対策事業取組実施申請書

大阪府水田農業推進協議会 会長 様

取組実施者名称 株式会社〇〇肥料店
代表者氏名 咲洲 太郎
住 所 大阪市住之江区南港北〇〇

以下のとおり必要事項を記載の上、関係資料を添えて申請します。

1 必要事項

部署担当者名	(株)〇〇肥料店営業部 大阪 一郎	電 話	〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇
ホームページ	http://www.〇〇〇〇.html (未開設の場合は空欄)	メールアドレス	〇〇〇〇〇@〇〇〇〇
対応可能肥料	自社販売品のみ対応 他社販売品も含めて対応可		

白地の事項について、大阪府ホームページの取組実施者一覧に掲載することを了解します。☑

2 関係資料

- ①ディスクロージャー誌
- ②定款
- ③経理規程
- ④注文一覧表及び購入明細一覧表の様式

1) 取組計画書の提出

府協議会への提出書類は以下のとおりです。（★：参加農業者から集める書類）

①取組計画書の承認申請書【様式2】（業務方法書様式1）

②★化学肥料低減計画書（写し）【農業者申請様式3】

③★事業申込書及び購入伝票等の写し【農業者申請様式2】

⇒事前に注文票等の一覧表について府協議会の承認を得ている場合は、購入伝票等の写しの代わりに一覧表の出力を添付してください。

④参加農業者名簿【様式2-1】

提出時に書類の写しをとり、保管願います。

※★申込誓約書【農業者申請様式1】については、府協議会への提出の必要はありません。参加農業者の申込みにあたってのチェックリストとしてください。

<各提出書類の留意点>

②★化学肥料低減計画書（写し）【農業者申請様式3】

化学肥料低減の取組は、今後約2年間に渡って中間報告、実施報告として確認を求められ、未実施はもとより不十分と判断されれば、支援金の返還を求められるほか、取組実施者としての責任も問われます。計画書の作成助言や受理などの機会を通じて、参加農業者の取組への意識付けをお願いします。

計画書の記入にあたっての主な留意点は記入例に示していますが、特に下記の点についてご注意ください。

○作付概要

- ・参加農業者の主要作物について、化学肥料低減の取組を計画していること。
（上位2作物について作物名と作付面積を記入し、それ以外の作付面積はその他で記載する。）

○取組メニュー

- ・○○については記入例の3パターンのほか、国の事業説明資料でも解説されています。特に取組の要件として、1つ以上は新しい取組（前年度までの取組：空欄、令和4年度～の取組：○）、もしくは従来の強化・拡大（◎）を含み、令和4年度～の取組で○○を合わせて2つ以上必要を満たしているか、必ず確認する。
- ・各取組メニューに該当する府内の事例については、13ページの取組例を参考に必要に応じて助言する。判断が難しい場合は、下記の担当まで相談する。

各JAから：全農大阪府本部生産事業部（06-6204-3612）
JA以外から：大阪府農政室地産地消推進グループ（06-6210-9590）

※「ソ 地域特認技術の利用（大阪エコ農産物の生産）」について

- ・大阪エコ農産物の認証後、実際に栽培を行う必要がある。
（認証を受けるだけは×）
- ・「ほ場準備ができなかった」などの理由で栽培を一切行わなかった場合は、取組を行ったとみなされないので注意が必要
- ・大阪エコ農産物の認証は年2回（7月・1月）申請のため、今回新たに取組む場合は、下記の3回のタイミングに限られるので注意
 - ①令和5年1月申請（3月認証）
 - ②令和5年7月申請（9月認証）
 - ③令和6年1月申請（3月認証）



※③の場合は3月末までに栽培を開始する必要あり

（ただし、エコ農産物としての出荷は認証日（3月末予定）までは不可）

③★事業申込書及び購入伝票等の写し【農業者申請様式2】

事業申込書

○購入した肥料

支援金の対象となる肥料は、肥料法（肥料品質確保法（旧：肥料取締法））で定めるもののみです。化学肥料に限定されていませんが、農業者等が購入したものに限られるため、領収書などが必要であり、自給堆肥などは対象外です。

（土壌改良資材も対象外です。ただし、バーク堆肥などで肥料登録があるものは対象となります。）

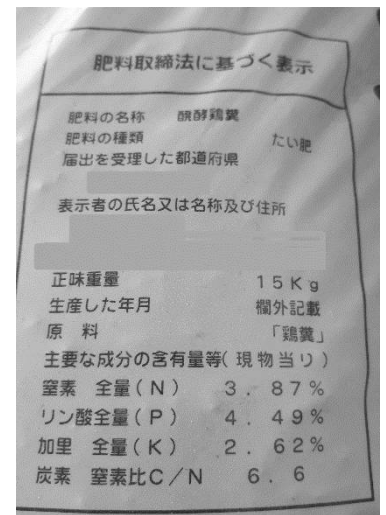
取組実施者が販売事業者である場合は、事前に対象となる商品を明らかにしておき、必要に応じて参加農業者に示してください。

また、自社の販売商品以外について申請を受け付ける場合や販売事業者以外の組織が申請を受け付ける場合は、必ず、参加農業者において商品（肥料袋等）の表示

（※）等で、肥料法に基づく登録・届出をされた商品であることを確実に確認しているか徹底をお願いします。

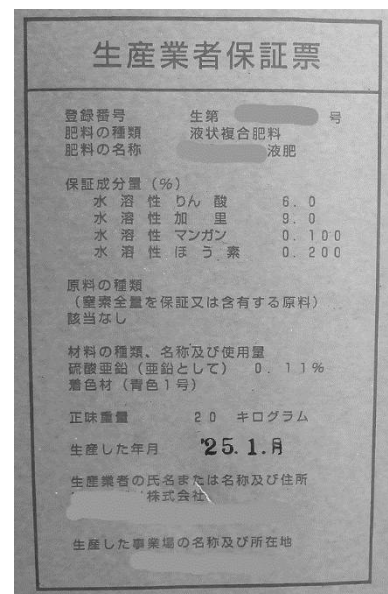
（※）表示例1（肥料法に基づく表示）

肥料の品質の確保等に関する法律に基づく表示	
肥料の名称	〇〇
肥料の種類	堆肥
届出をした都道府県	東京都
表示者の氏名又は名称及び住所	〇〇畜産センター 〇〇 東京都千代田区大手町〇丁目〇番〇号
正味重量
生産した年月
原料
主成分の含有量等	
窒素全量



(※) 表示例2（保証票（生産業者、輸入業者、販売業者））

生産業者保証票	
登録番号	生第〇〇〇〇号 *2
肥料の種類	液状肥料 *2
肥料の名称	液状肥料1号 *2
保証成分量(%)	窒素全量 8.0 *2
	内アンモニア性窒素 2.0
	硝酸性窒素 1.0
	水溶性りん酸 5.0
	水溶性加里 5.0
原料の種類 *3	
(原料)	
尿素、指定配合肥料、副産肥料【加里含有物】、りん酸含有物、(副産動植物質肥料【動物由来物質、植物由来物質】)	
備考：1 重量割合の大きい順である。	
2 副産肥料【加里含有物】とりん酸含有物の重量割合の順位は、入れ替わることがある。	
3 ()内の原料は原料事情等により使用しないことがあり、この場合の使用原料の重量割合の順位は、「尿素、副産肥料【加里含有物】、指定配合肥料、りん酸含有物」となる。	
4 []内は副産肥料又は副産動植物質肥料の原料である。	
材料の種類及び名称 *4	
(使用されている着色材)	食用青色1号 *5
正味重量	20キログラム
生産した年月*6	令和〇〇年〇〇月
生産業者の氏名又は名称及び住所 *2	〇〇〇株式会社 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
生産した事業場の名称及び所在地 *7	〇〇〇株式会社 本社工場 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1



万一、対象外の商品が含まれていると、支援金の減額や取り消しになるなど、取組実施者としても責任を問われる場合があります。確認が不十分等で対象となるかがいまいな商品については除外するよう、申請時のチェックをお願いします。

【肥料登録の検索サイト】

肥料登録銘柄検索システム（独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC））

<http://www.famic.go.jp/ffis/fert/sub4.html>

○確認事項

同一の購入肥料について、複数の取組実施者に申請され、重複して支援金が交付されることを防ぐ参考とするため、申請先が複数（例：JAと肥料店、複数の肥料店など）かどうかの確認をお願いします。

（複数から購入した肥料について、購入したそれぞれの販売店に申請することは問題ありません。）

購入伝票等（写し）添付用紙

取組実施者において、事前に府協議会から承認を得た供給実績一覧表等を添付する場合は、参加農業者個々での領収書等の添付は不要です。ただし、その場合でも事業申込書に購入合計額の記入は必要です。

上記以外の場合は、下記の項目を満たす領収書等（写し）の添付が必要です。

- ①日付（令和4年6月1日以降であること）
- ②宛名（苗字だけでなく名前まで正確に記載されていること。『上様』は不可）
- ③購入金額
- ④肥料銘柄、商品の規格、購入数量等（肥料法に基づく商品であること）
- ⑤購入した店舗名・会社名

※添付する購入伝票（領収書等）は写し（原本は参加農業者が保管） 取組実施者事業説明会資料

<h1 style="margin: 0;">領収証</h1>		No. _____									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">②名前まで記載されている</div>									
咲洲 太郎 様											
金額	¥44,000 -	収入印紙									
但 大手前肥料403 20kg 20袋 代として											
令和4年 8月25日 上記正に領収いたしました											
①R4. 6. 1以降の日付	④摘要に肥料銘柄、規格、数量										
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">【内訳】</td> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">株式会社 大阪肥料店</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; padding-top: 5px;">税抜金額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; padding-top: 5px;">40,000</td> <td style="padding-left: 20px;">住所： 大阪市住之江区南港北1-〇〇</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; padding-top: 5px;">消費税額 (10 %)</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; padding-top: 5px;">4,000</td> <td style="padding-left: 20px;">TEL： 06-6941-〇〇〇〇</td> </tr> </table>			【内訳】		株式会社 大阪肥料店	税抜金額	40,000	住所： 大阪市住之江区南港北1-〇〇	消費税額 (10 %)	4,000	TEL： 06-6941-〇〇〇〇
【内訳】		株式会社 大阪肥料店									
税抜金額	40,000	住所： 大阪市住之江区南港北1-〇〇									
消費税額 (10 %)	4,000	TEL： 06-6941-〇〇〇〇									
⑤購入店舗名・所在地等		印									

なお、購入伝票等は突合をスムーズに行うため、事業申込書の記入順に貼付するようご協力をお願いします。

④参加農業者名簿【様式2-1】

支援予定額は当年の肥料費及び高騰率を入力すると自動計算されます（Excel ファイル）。手計算による間違い等を防ぐため、できるだけ Excel ファイルを活用願います。

2) 支援金の支払い

府協議会からの支援金は、参加農業者が届出た振込口座に速やかにお支払いください。支払いは必ず口座振り込みとし、現金等での支払いは厳禁です。

なお、振込手数料等に対する国の補助金等はありませんので、費用発生する場合の負担については、予め参加農業者と同意を得るようにしてください。

（申込誓約書【農業者様式1】では、「事務手数料や振込手数料などが生じる場合は、これを差し引いて支援金を支払う」としていますが、取組実施者が負担する場合は適宜修正願います。）

肥料価格高騰対策事業申込誓約書

令和〇年〇〇月〇〇日

誓約事項をご確認いただき、
ご署名をお願いします。

住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
氏名（自署）	咲洲 太郎

1 事業内容に関すること

私は、事業に関する以下の4つの事項を誓約いたします。

- ①この支援金は、令和4年度から5年度までの2年間に化学肥料の使用低減につながる2つ以上の取組（化学肥料低減計画書）を行うことを条件に支払われることを理解の上、申込みます。
- ②上記取組を誠実にいき、取組内容は作業日誌等で記録を必ず残します。
（取組確認調査の際、取組内容が分かる記録書類の提出の求めに応じます。）
- ③上記調査等の結果、申請内容に虚偽や不正がある場合や、化学肥料低減の取組が不適正や不十分と判断された場合は、支援金を返還すること、または、支払われないことに異存ありません。
- ④取組実施者において事務手数料や振込手数料などが生じる場合、これを差し引いて支援金が支払われることに同意します。

2 申請書類に関すること

私は、申請に必要な以下の書類（①～③）が全て揃っていることを確認しました。

① 肥料価格高騰対策事業申込書

- ・袋に『保証票』の印刷があることや販売店への問い合わせ等により、肥料法に基づく肥料であることを確認しましたか。
- ・申込票に肥料の名称と購入金額を正確に記入できていますか。
- ・肥料は全て令和4年6月1日から令和5年5月31日までの購入であることを確認し、返品できないことを理解していますか。
- ・申込書（農業者様式第2号）に記入した肥料の購入伝票等（写しで可）は、全て添付していますか。

② 化学肥料低減計画書

- ・「前年度までの取組」欄で実施してきた内容のメニューに○が付いていますか。
- ・「令和4年度又は令和5年度の取組」に、◎もしくは○が合わせて2つ以上付いていますか。（既に2つの取組を行っており、新たな取組みを行わない場合は◎（取組強化）が必要です。）
- ・取組内容欄には、対象の作物名や面積、堆肥の投入量など、取組の概要が書かれていますか。
- ・当年の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用する旨の署名はしていますか。

③ 振込口座届出書

- ・支援金の振込口座に関する情報の記入漏れはないですか

肥料価格高騰対策事業申込書

記入日	令和〇年〇〇月〇〇日	氏名	咲洲 太郎
住所	大阪市中央区大手前2丁目〇〇〇〇〇		

1 購入した肥料(府協議会が認めた注文票等を添付する場合は、合計額以外は記入省略可)

商品名	肥料法上の区分 (該当するものに○)	金額
くみあい燐加安444号	○普通肥料・特殊肥料	88,900円
粒状ようりん	○普通肥料・特殊肥料	26,300円
5.0綿実油粕	○普通肥料・特殊肥料	52,380円
〇〇〇〇〇	○普通肥料・特殊肥料	44,000円
×××××	普通肥料 ○特殊肥料	21,500円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
	普通肥料・特殊肥料	円
合 計 (必ず記入してください)		233,080円

注文票等の一覧を添付する場合は
記入省略できます

注文票等の一覧を添付する場合でも
合計金額は必ず記入!

- 商品名は正確に記入してください
- 肥料法上の区分については、商品の表示(肥料袋等)を確認いただくか、購入した肥料販売店へご確認ください(指定混合肥料は普通肥料を選択)。
- 金額は同じ肥料を複数個購入している場合は、合計額を記入。
- 全ての肥料が購入伝票等で確認できるようにしてください。
- 肥料の注文はしたが、納品がまだの場合(購入伝票等が未発行の場合)は、請求書や発注書など購入の事実がわかる書類を添付してください。

2 確認事項

本申込書の内容に相違ございません。 (確認してチェック)

申込は (どちらかに必ず○をしてください)

この JA・肥料販売店等 (1か所) のみです。 2か所以上です。

購入伝票等添付用紙（足りない場合はコピーして追加してください）

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

添付する購入伝票等に以下の内容が全て記載されているか必ず確認してください。（記載が不十分な場合は購入店にご相談ください。）

- ① 日付（令和4年6月1日以降であること）
- ② 宛名（姓名が正確に記載されていること。『上様』は不可）
- ③ 購入金額
- ④ 肥料の商品名、数量等（肥料法に基づく商品であること）
- ⑤ 購入した店舗名・会社名

のり付けもしくはホチキス止め

のり付けもしくはホチキス止め

(参考) 化学肥料低減取組メニューと大阪府内での取組例

取組メニュー		取組例
ア	土壌分析による施肥設計	土壌分析結果から施肥設計を作成し、施肥設計に基づいて施肥を行う。 ※簡易、精密に関わらない。
イ	生育診断による施肥設計	作物の生育を観察して（必ず記録を残す。技術者の指導を受けるのも可だが、指導内容の記録を残す）生育診断を行い、結果を施肥設計に反映させる。施肥設計に基づき施肥実施。
ウ	地域の低投入型の施肥設計の導入	地域での先進的な低投入の取組（エコ等）を参考に施肥設計を作成し、施肥実施。
エ	堆肥の利用	各種有機資源を活用した堆肥（市販品含む）を施用する。 家畜糞堆肥などの利活用促進する。
オ	汚泥肥料の利用（下水汚泥等）	下水汚泥（大阪東部等）・し尿処理汚泥（南河内等）等を利用した資材を施用する。
カ	食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外）	給食残渣（豊中市等）や作物残渣等を利用した堆肥等を施用する。
キ	有機質肥料（指定混合肥料を含む）の利用	有機質肥料を化学肥料から切り替えて使用する。従来化学肥料を使用している場合、分量が従来使用量を超えないよう留意する。 動植物質有機肥料の利活用促進する。
ク	緑肥作物の利用	緑肥作物等（れんげ・マメ科牧草等やその他の植物）を栽培してすき込んで、作物を栽培する。
ケ	肥料施用量の少ない品種の利用	従来の品種に比べて施肥量を抑えても収量・品質に差が少ない品種があれば、栽培を切り替える。
コ	低成分肥料（単肥配合を含む）の利用	従来使用している肥料に比べて低成分の肥料があれば使用を切り替える。この場合、従来の肥料成分と同量以下の使用にするよう留意。
サ	可変施肥機の利用（ドローンの活用等も含む）	可変施肥機（ホバークラフトやラジヘリ、ドローンなど）の利用により肥料施肥量の低減する。
シ	局所施肥 (側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)	局所施肥用機材の利用による施肥量の低減やペースト肥料などの利用するなど
ス	育苗箱（ポット苗）施肥の利用	水稻育苗箱全量施肥専用肥料（苗箱まかせなど）の利用。
セ	化学肥料の使用量およびコスト節減の観点からの 施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く)	
ソ	地域特認技術の利用（大阪エコ農産物の生産）	大阪エコ農産物の認証を受けて栽培を行う。

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
水なす	15
その他	5
計	50

作物名・作付面積は
取組を行う主要な農作物について
記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

前年度までの取組がない場合は、
令和4年度又は5年度取組に○が
2つ(以上)必要です。

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(予定)
ア	時期: 令和5年5月 取組面積: 30a 対象作物: 水稲 内容(資材名など): 土壌診断結果に基づく施肥設計の見直し
エ	時期: 令和5年8月 取組面積: 15a 対象作物: 水なす 内容(資材名など): もみがら堆肥を500kg 施用
	時期: 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月～令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

作物名・作付面積は
取組を行う主要な農作物について記入
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		○
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		○

前年度までの取組がない場合は、
令和4年度又は5年度を取組に○が
2つ(以上)必要です。

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(予定)
ク	時期: 令和5年10月 取組面積: 30a 対象作物: 水稲 内容(資材名など): 新たにれんげ米栽培に取り組む
ソ	時期: 令和6年2月 取組面積: 10a 対象作物: じゃがいも 内容(資材名など): 新たに大阪エコ農産物の認証を受ける
	時期: 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

- ① 大阪エコ農産物の認証(年2回申請:7月・1月)を受けた後、
- ② 令和6年3月末日までにエコ栽培を開始する必要があります。(認証のみは×)

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり

当年(令和4年6月～令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) **咲洲 太郎**

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

作物名・作付面積は
取組を行う主要な農作物について記入
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)	前年度までに取組を行っており、 継続(面積・回数等変更なし)して 実施する場合	
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(予定)
ア	時期: 令和5年10月 対象作物: ぶどう 取組面積: 40a(1園地) 内容(資材名など): 新たに土壌診断を実施し、施肥を行う。
キ	時期: 令和5年9月 対象作物: ぶどう 取組面積: 100a 内容(資材名など): パーク堆肥を引き続き施用(1.5t/10a)
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月～令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

3) 取組実績の報告（※取り扱いについて国確認中）

府協議会への提出書類は以下のとおりです。

- ①取組実績報告書【様式4】（業務方法書様式4）
- ② 同 別添（【様式2】（業務方法書様式2）の別添の標題を実績報告書とする）
- ③参加農業者名簿【様式2-1】

※計画時から参加者に変更があった場合は反映させること

＜変更があった場合の提出書類＞※計画から変更がなければ提出不要

- ④★化学肥料低減計画書（写し）【農業者申請様式3】
- ⑤★事業申込書及び購入伝票等の写し【農業者申請様式2】

1) 取組計画書提出時から変更があった場合は、②③の内容に反映させる必要があります。④⑤については、**変更箇所がわかるように赤字で加筆修正**してください。

提出時に書類の写しをとり、保管願います。

※当年の肥料高騰率の発表が令和5年3月になる見込みから、当報告の取り扱いが変更になる可能性があります。

4) 中間報告書の提出

府協議会への提出書類は以下のとおりです。

- ①取組中間報告書【様式6】（業務方法書様式6）
- ②★化学肥料低減実施中間報告書（写し）【農業者様式5】
- ③★作業日誌等の取組記録（写し）【農業者参考様式2ほか（様式任意）】

※実施済の取組のみ

提出時に書類の写しをとり、保管願います。

令和4年度の取組（期間は令和4年6月から令和5年5月まで）について、参加農業者から化学肥料低減中間報告書【農業者様式5】を徴取します。その際に、既に実施された取組については、作業日誌【農業者様式2】等の活動記録の提出も求め、取組が実際に行われていることを確認します。

活動記録とは、作業日誌のほか、土壌診断の診断結果、施肥設計書、作業時の写真、資材等の購入伝票など、取組を実施したことが確認できる書類を指します。

もし、計画の時期から大幅な遅れて未実施の取組がありましたら、残りの期間（令和6年3月）までに着実に実施するよう当該農業者にご助言等をお願いします。

令和5年10月末までに府協議会に上記を添付して中間報告書【様式6】（業務方法書様式6）を提出します。

5) 実施状況報告書の提出

府協議会への提出書類は以下のとおりです。

- ①実施状況報告書【様式5】（業務方法書様式5）
- ②★化学肥料低減実施報告書（写し）【農業者様式4】
- ③★作業日誌等の取組記録（写し）【農業者参考様式2ほか（様式任意）】

※全期間の取組分

提出時に書類の写しをとり、保管願います。

令和4～5年度の取組（期間は令和4年6月から令和6年5月まで）について、参加農業者から化学肥料低減実施報告書【農業者様式4】を徴取します。その際に取組全期間の実績について、作業日誌等の取組記録を求めて確認します。令和6年7月末までに上記報告書の写し、及び参加農業者名簿【様式5-1】を添付して、府協議会に実施状況報告書【様式5】（業務方法書様式5）を提出します。

6) 現地調査へのご協力

国の事業実施要領等に基づき、府協議会が実施状況報告書の内容、実施状況について、現地において検査を行いますので、調査対象となる参加農業者との日程調整などのご協力をお願いします。（抽出調査になります。調査結果をもとに府協議会から国へ実施状況報告・評価報告を提出します。）

なお、国による会計検査の対象にもなりますので、取組実施者としての説明責任のほか、関係書類の保存（令和9年度末まで：支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間）、参加農業者との調整などが必要ですので、ご理解をお願いします。

(参考)化学肥料低減の取組メニューと取組実施の主な証拠書類（例）

取組メニュー	取組みを実施したことが確認できる書類
ア 土壌診断による施肥設計	土壌診断結果、施肥設計書、肥料・土壌改良資材購入伝票等（領収書等）、施肥作業実施記録（＝作業日誌）
イ 生育診断による施肥設計	生育診断結果、施肥設計書、肥料・土壌改良資材購入伝票等、施肥作業実施記録
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	施肥設計書、肥料・土壌改良資材購入伝票等、施肥作業実施記録
エ 堆肥の利用	たい肥投入計画、たい肥購入伝票等、作業実施記録
オ 汚泥肥料の利用（下水汚泥等）	肥料投入計画、肥料購入伝票等、作業実施記録
カ 食品残渣などの国内資源の利用（エとオ以外）	肥料投入計画、残渣購入伝票等、作業実施記録
キ 有機質肥料（指定混合肥料等を含む）の利用	肥料投入計画、肥料購入伝票等、作業実施記録
ク 緑肥作物の利用	緑肥作物栽培計画、種子購入伝票等、は種・すき込み等作業実施記録
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用	栽培計画、種苗等購入伝票等、栽培作業実施記録
コ 低成分肥料（単肥配合を含む）の利用	肥料投入計画、肥料購入伝票等、作業実施記録
サ 可変施肥機の利用（ドローンの活用等も含む）	栽培・施肥計画、資材（機材）等購入伝票等、作業実施記録
シ 局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥・灌注施肥等）の利用	栽培・施肥計画、資材（機材）・肥料等購入伝票等、作業実施記録
ス 育苗箱（ポット苗）施肥の利用	栽培・施肥計画、肥料・資材等購入伝票等、作業実施記録
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く）	施肥計画、肥料購入伝票等、作業実施記録
ソ 地域特認技術の利用（大阪エコ農産物の生産）	大阪エコ農産物生産実績

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
水なす	15
その他	5
計	50

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
 2 「(左のうち) 既の実施した取組」には、今回の報告時点で既の実施した取組に○、◎を記入してください。
 (これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は 5年度取組予定	(左のうち) 既の実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計	○ : 土壌診断に基づく 施肥を実施 (R5. 5. 10)	
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用	○ : もみがら堆肥の施用 (R5. 8. 10)	
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

既に取り組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日): 令和5年5月10日 取組面積: 30a 対象作物: 水稲 内容(資材名など): JAの土壌診断結果に基づく施肥
エ	実施期間(実施日): 令和5年8月10日 取組面積: 15a 対象作物: 水なす 内容(資材名など): もみがら堆肥を500kg施用
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
- 「(左のうち) 既に実施した取組」には、今回の報告時点で既に実施した取組に○、◎を記入してください。
(これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は5年度の取組予定	(左のうち)既に実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	○	
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産物の生産)	○	

※未実施のため空欄
(れんげ米栽培(れんげ播種)を予定)

※未実施のため空欄
(大阪エコ農産物(じゃがいも)の申請を予定)

既に取組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入し

記号(ア～ソ)	実施期間(実施日):	取組面積:
	対象作物:	内容(資材名など):
	実施期間(実施日):	取組面積:
	対象作物:	内容(資材名など):

大阪エコ農産物は申請できる時期が決まっています。(年2回申請:7月・1月)
この例の場合は、令和6年1月に申請する必要があります。
(令和6年1月申請が取組期間中、最後の機会となりますので、確実に申請する必要があります。)

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施中間報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 「令和4年度又は令和5年度の取組予定」には、化学肥料低減計画書に記入した取組(○、◎)を転記してください。
- 「(左のうち)既に実施した取組」には、今回の報告時点で既に実施した取組に○、◎を記入してください。
(これから取組予定の場合は空欄としてください。)

取組メニュー	令和4年度又は5年度 の取組予定	(左のうち) 既に実施した取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エトオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

○:ぶどうほ場の土壌診断を
実施(R5.10.18)

○:ぶどうほ場にパーク堆肥を
施用(R5.9.28)

既に取組を実施した内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日): 令和5年10月18日 取組面積: 40a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): 土壌診断による施肥を実施
エ	実施期間(実施日): 令和5年9月28日 取組面積: 100a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): パーク堆肥を施用(1.5t/10a)
	実施期間(実施日): 取組面積: 対象作物: 内容(資材名など):

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
水なす	15
その他	5
計	50

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	〇	〇
イ 生育診断による施肥設計	〇: アを(計画どおり)実施し、今後も継続して取り組む	
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	〇	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)	◎: 水なすに加えて、今後はその他の品目(10a)でも堆肥を利用する	
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥)	ア: 土壌診断(水なす30a) エ: 堆肥利用(水なす15a+その他5a)	
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用(大阪エコ農産)	〇	〇
ク: 土壌診断(30a) ソ: 堆肥利用(水なす10a)		
総取組面積	45 a	50 a

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日): 令和5年5月10日 取組面積: 30a 対象作物: 水稲 内容(資材名など): JAの土壌診断結果に基づく施肥
エ	実施期間(実施日): 令和5年8月10日 取組面積: 15a 対象作物: 水なす 内容(資材名など): もみがら堆肥を500kg 施用

作業日誌の記録のほか
ア) 土壌診断結果、施肥設計書、施用した肥料の購入伝票など
エ) もみがら堆肥の購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稻	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用	○	○
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 施肥量・肥料銘柄の見直し		
ソ	○	○
総取組面積	40 a	70 a

○: 今後は新たに土壌診断による水稻の施肥設計により施肥を行う。

クとソを(計画どおり)実施し、今後も継続して取り組む

ア: 土壌診断(水稻 30a)
ク: れんげ米栽培(30a)
ソ: 大阪エコ農産物認証・生産(じゃがいも 10a)

ク: れんげ米栽培(30a)
ソ: 大阪エコ農産物認証・生産(じゃがいも 10a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ク	実施期間(実施日): 令和5年10月22日 取組面積: 30a 対象作物: 水稻 内容(資材名など): 水稻収穫後、れんげをは種
ソ	実施期間(実施日): 令和6年2月15日 取組面積: 10a 対象作物: じゃがいも 内容(資材名など): 種いも植え付け、エコ栽培

作業日誌の記録のほか
ク) れんげ種子の購入伝票など
ソ) 大阪エコ農産物認証書、種いもの購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

計画後に作物名・作付面積が変動した場合は、変更後(実際)の内容を記入してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(◎)

◎: 今後は全てのぶどう園地で土壌診断による施肥設計により施肥を行う。(40→100a)

取組メニュー	令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時)		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 施肥量・肥料銘柄の見直し		
ソ	○	○
総取組面積	140 a	200 a

今後も継続して取り組む(面積等変更なし)

ア: 土壌診断による施肥設計(40→100a)
エ: 堆肥の利用(100a)

ア: 土壌診断による施肥設計(40a)
エ: 堆肥の利用(100a)

令和4年度又は令和5年度に取り組んだ内容(実施期間、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア~ソ)	取組内容(実績)
ア	実施期間(実施日): 令和5年10月18日 取組面積: 40a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): 土壌診断による施肥を実施
エ	実施期間(実施日): 令和5年9月28日 取組面積: 100a 対象作物: ぶどう 内容(資材名など): パーク堆肥を施用(1.5t/10a)

作業日誌の記録のほか
ア) 土壌診断結果、施肥設計書、施用した肥料の購入伝票など
エ) パーク堆肥の購入伝票などを証拠書類として保管してください。

※作業日誌などに記録している場合は、その写しの添付で記入省略可

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)


氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : ケ 肥料施用量の少ない品種の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○肥料施用量の少ない品種の利用 (品種名 : ○○○○)	
○施肥 (元肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) N - P - K ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	
	月 日

※添付資料 : 購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : **ア 土壤診断による施肥設計**

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
※ 土壤診断結果と施肥設計の見直し	月
○施肥 (元肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	∫
	月 日

※添付資料 : **土壤診断結果**

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : イ 生育診断による施肥設計

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○施肥 (元肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
※ <u>生育診断結果と施肥設計の見直し</u>	月 日
○施肥 (追肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	月 日

※添付資料 : 生育診断結果

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : **ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入**

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
※ 肥料成分を従前より低下させた施肥設計の導入	
○施肥 (元肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	月 日
	月 日

※添付資料 : 従前の施肥設計と低投入型の施肥設計

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作 業 日 誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : **工 堆肥の利用**

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○堆肥の投入 (堆肥名 : _____) ○○○kg/10a	月 日
○施肥(元肥) N-P-K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥(追肥) N-P-K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	 月 日

※添付資料 : 堆肥の購入伝票等

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作 業 日 誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : 才 下水汚泥の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○施肥(元肥) <u>汚泥肥料名:</u> N-P-K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥(追肥) <u>汚泥肥料名:</u> N-P-K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	 月 日

※添付資料 : 汚泥肥料の購入伝票等

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : 力 食品残渣(稲わらすき込み)など国内資源の利用 (工・才以外)

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○稲わらのすき込み	月 日
○施肥(元肥) 食品残渣を原料とした肥料等の施用 肥料名等 : ○○○ N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥(追肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	月 日

※添付資料 : 購入伝票等

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : キ 有機質肥料 (指定配合肥料を含む) の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○施肥 (元肥) 有機質肥料 (指定配合肥料を含む) の施用 肥料名等 : ○○ N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) ・有機質肥料 (指定配合肥料を含む) の施用 肥料名等 : ○○ ○○kg/10a ・化学肥料 N - P - K ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日 ~ 月 日

※添付資料 : 購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : ク 緑肥作物 (レンゲ等) の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○緑肥の播種 (緑肥作物 : レンゲ) ○kg/10a	月 日
○施肥 (元肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	月 日

※添付資料 : 購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : ケ 肥料施用量の少ない品種の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○肥料施用量の少ない品種の利用 (品種名 : ○○○○)	
○施肥 (元肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) N - P - K ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	月 日

※添付資料 : 購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : コ 低成分肥料の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
<p>※リン酸・加里成分を予め減らした複合肥料を使用 (従前の肥料銘柄 : N - P - K ○○kg/10a) (見直し肥料銘柄 : N - P - K ○○kg/10a)</p> <p>○施肥 (元肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a</p> <p>○播種</p> <p>○定植</p> <p>○施肥 (追肥) N - P - K ○-○-○ ○○kg/10a</p> <p>○収穫</p>	<p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p>

※添付資料 : 購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : サ 可変施肥機の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
※可変施肥機の利用 (可変施肥機のメーカー・機種 : _____)	
○定植	月 日
○施肥 (田植え時) N - P - K ○-○-○ ○○kg/10a	月 日 月 日
○収穫	月 日 ~ 月 日

※添付資料 : 可変施肥機の作業時の写真

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)


氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : シ 局所施肥の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
※局所施肥の利用 (局所施肥機のメーカー・機種 : _____)	
○施肥 (元肥) N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) N - P - K ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	
	月 日

※添付資料 : 局所施肥機の作業時の写真

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : ス 育苗箱 (ポット苗) 施肥の利用

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
○育苗箱 (ポット苗) 施肥 肥料名等 : ○○ N - P - K : ○-○-○ ○○kg/10a	月 日
○定植	月 日
○収穫	月 日 ~ 月 日

※添付資料 : 購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)


氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : **セ 施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～ス除く)**

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
<p>※地域の施肥暦に合せた肥料銘柄や施用量の見直し (従前の肥料銘柄 : N - P - K ○○kg/10a) (見直し肥料銘柄 : N - P - K ○○kg/10a)</p>	
○施肥 (元肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○播種	月 日
○定植	月 日
○施肥 (追肥) (肥料名 : ○○ N - P - K) ○○kg/10a	月 日
○収穫	月 日
	
	月 日

※添付資料 : 従前の施肥設計と見直し後の施肥設計、購入伝票

(化学肥料低減計画に基づく作業記録)

作業日誌 (例)

氏名	
住所	
電話番号	

○化学肥料低減計画

(取組項目) : ソ 地域特認技術の利用 (大阪工コ農産物の生産)

○対象作物名 : _____

○取組面積 : _____

作業項目	作業日
※別添大阪工コ農産物実績報告書の通り	

※添付資料 : 大阪工コ農産物実績報告書、認証審査結果の通知

3 注意事項

1) 取組実施者の主な業務と留意事項

◆取組実施者（農業者の組織する団体）の要件

- ・ 5戸以上の農業者が参加していること
- ・ 代表者の定めがあり、規約・規程類が整備されていること

※新たに「農業者の組織する団体」を設立する場合は

- ・ 組織運営に関する規定や、代表者を定めてください
- ・ 本事業の支援金を振り込むための口座を新規開設してください。

◆本事業に係る報告や立入調査について、近畿農政局長等から求められた場合は調査等に協力ください。

◆府協議会又は近畿農政局長等から保管している書類の提出を求められた場合は、提出してください。

◆以下の場合、支援金の返還や交付されないことがありますのでご注意ください。

- ・ 取組計画書やその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合
- ・ 正当な理由がなく、取組計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合

◆支援金の対象となる経費は、参加農業者への支援金のみとなります。

- ・ 取組実施者から参加農業者への振込手数料、取組実施者の事務費などは補助の対象となりませんのでご了承ください。

◆事業を実施していく中で、内容に変更が生じる場合は、お早めにご相談ください。

- ・ 参加農業者の一部が取り組みを続けられなくなった。
- ・ 事業内容の大幅な変更が必要となった。

2) 生産者の参加要件と留意事項

◆販売・出荷等の実績があること

- ・ この事業は、肥料価格高騰による農業経営への影響を緩和するとともに、化学肥料の使用量の低減を進めることとされているため、参加する農業者は農業経営を行う者である必要があります。このため、原則として農産物の販売実績（自給飼料を生産する畜産農家は畜産物の販売実績）があることが前提となりますので、取組実施者において参加農業者の販売伝票などを確認いただくこととなります。

◆化学肥料低減の取組みを実施すること

- ・化学肥料2割低減を実現するため、**取組メニューの中から2つ以上を実施**してください。
- ・取組期間は、**令和4年から2年間（令和4年6月から令和6年5月まで）**となります。
- ・既に実施している取組については、**拡大・強化**することで対象となります（記入例を参照してください）

◆関係書類の保管

- ・申請時提出書類の写し（注文票などは原本）、取組内容がわかる書類等（土壌診断の診断結果、施肥設計書、購入肥料の伝票、作業時の写真、生産履歴等）等の関係書類は、事業が終わった後も**5年間の保管が義務付け**られています。**一連の書類を綴じ込み、期間内の保管**をお願いします。
- ・参加農業者に対しては、同様に領収書等の原本の保管などを行うよう指導をお願いします。